

瑞穂町立小・中学校 保護者の皆様
地域の皆様・関係の皆様

瑞穂町教育委員会教育部教育指導課

令和7年度 全国学力・学習状況調査の瑞穂町の結果、分析及び方策等について

I 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果（国語・算数・数学・理科）について

1 結果内容

小学校6年生及び中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が令和7年4月17日（中学校理科は4月14日から4月17日）に行われました。この調査は、児童・生徒の学力や学習状況の把握・分析を通して、教育委員会の取組の成果や課題の検証、改善を図るとともに、学校における教育指導の改善・充実に役立てることを目的として実施しています。

令和6年度の結果と令和7年度の結果の比較（平均正答率）及び全国との差（％）

<小学校第6学年>

	国語			算数			理科		
	全国	町	国との差	全国	町	国との差	全国	町	国との差
6年度	67.8	52.9	-14.9	63.6	50.6	-13.0			
7年度	67.0	55.7	-11.3	58.2	41.9	-16.3	57.3	45.3	-12.0

<中学校第3学年>

	国語			数学			理科（平均 IRT スコア）		
	全国	町	国との差	全国	町	国との差	全国	町	国との差
6年度	58.4	50.7	-7.7	53.0	45.0	-8.0			
7年度	54.6	49.3	-5.3	48.8	39.3	-9.5	505	466	-39

2 傾向

- 小学校国語では目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要に応じた情報を見付けることに課題が見られました。目的に応じて必要な情報かどうかを確かめたり、情報と情報がどのような関係にあるのかを考えたりしながら読むことができるように指導を充実させていきます。

中学校国語では、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題が見られました。文章全体や部分における構成や展開を把握した上で、なぜそのような構成や展開になっているのか、そのことがどのような効果につながるのかなど、自分なりの意味付けをする指導を充実させていきます。

- 小学校算数では、分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて説明することに課題が見られました。数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、共通する単位分数を見出すことで、既習の整数の加法に帰着できるように指導を行っていきます。

中学校数学では、一次関数 $y=ax+b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることに課題が見られました。増加量や変化の割合の意味、一次関数の変化の割合が一定であることを確認した上で、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができるように指導を行っていきます。

Ⅱ 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果（児童・生徒質問紙調査）について

小学校6年生及び中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査と同時に、児童・生徒の学習意欲や生活状況に関する質問紙調査も行いました。

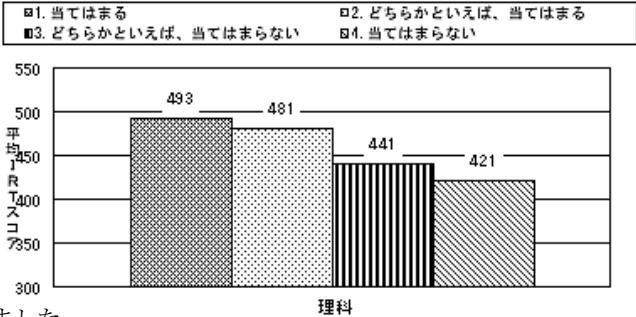
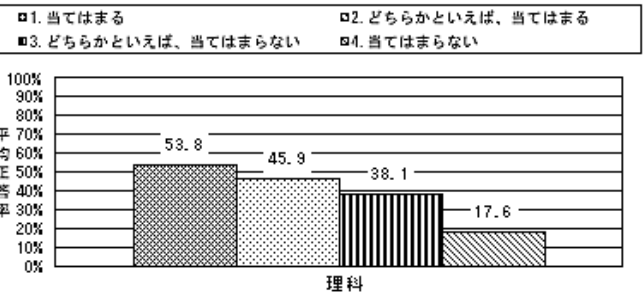
令和7年度 質問紙調査の結果（抜粋） (%)

1 平均正答率と意識調査の相関関係の例

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

(小学校第6学年 理科)

(中学校第3学年 理科)



※国語、算数・数学においても、上記の理科と同様の傾向が見られました。

2 質問紙調査の結果のうち、瑞穂町において「課題となる項目」（抜粋）

＜小学校第6学年＞

黄色・・・前回より改善が見られた項目 青色・・・前回より下回った項目

質問事項	選択肢（抜粋）	令和7年度 町	全国	国との差	令和6年度 町	短評
学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	2時間以上	17.6	24.9	-7.3	13.4	1日あたりの勉強時間が、2時間以上の児童の割合が増加したが、全国平均より下回っている。
	1時間以上2時間より少ない	21.6	29.1	-7.5	26.1	
	1時間未満、全くしない	60.8	46.0	14.8	60.6	
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	当てはまる、どちらかといえば、当てはまる	73.1	80.3	-7.2	76.5	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ児童の割合は減少した。
5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	当てはまる、どちらかといえば、当てはまる	71.4	77.8	-6.4	69.3	自分の考えをまとめる活動を行った児童の割合は増加したが、全国平均より下回っている。

＜中学校第3学年＞

質問事項	選択肢（抜粋）	令和7年度 町	全国	国との差	令和6年度 町	短評
学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	2時間以上	25.5	30.8	-5.3	23.6	1日あたりの勉強時間が、2時間以上の生徒の割合が増加し、1時間未満、全くしないの生徒の割合が減少した。
	1時間以上2時間より少ない	30.2	30.8	-0.6	28.1	
	1時間未満、全くしない	44.2	38.1	6.1	47.5	
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	当てはまる、どちらかといえば、当てはまる	72.1	77.7	-5.6	69.2	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ生徒の割合は増加したが、全国平均より下回っている。
1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	当てはまる、どちらかといえば、当てはまる	59.0	70.6	-11.6	62.4	自分の考えをまとめる活動を行った生徒の割合は減少した。全国平均からも10ポイント以上下回っている。

3 傾向・分析

- 上記のグラフのとおり、学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている児童・生徒ほど各教科の正答率・スコアが高い傾向が見られました。学習した内容を見直す習慣を身に付けられるよう家庭でもお声掛けをお願いします。
- 主体的・対話的で深い学びに取り組んだと考える児童・生徒ほど、各教科の正答率・スコアが高い傾向が見られました。瑞穂町の各学校では、引き続き、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に努めていきます。